

平成31年度入学

# 宮城大学 入試ガイド



宮城大学  
MIYAGI UNIVERSITY

# 目次

## ■AO入試

①選抜方法と日程	3
②AO入試はこんな方にオススメ！	4
③AO入試の概要	
(1) 第1次選考（書類選考）	4
●自己推薦書	5
●学修計画書	6
(2) 第2次選考	7
①レクチャー・レクチャーレポート	7
②グループワーク・ふりかえりレポート	9
③面接（口頭試問を含む。）	10

## ■推薦入試

①選抜方法と日程	11
②推薦入試はこんな方にオススメ！	12
③入試科目「面接（口頭試問を含む。）」の流れ	12
④入試科目「面接（口頭試問を含む。）」の概要	12

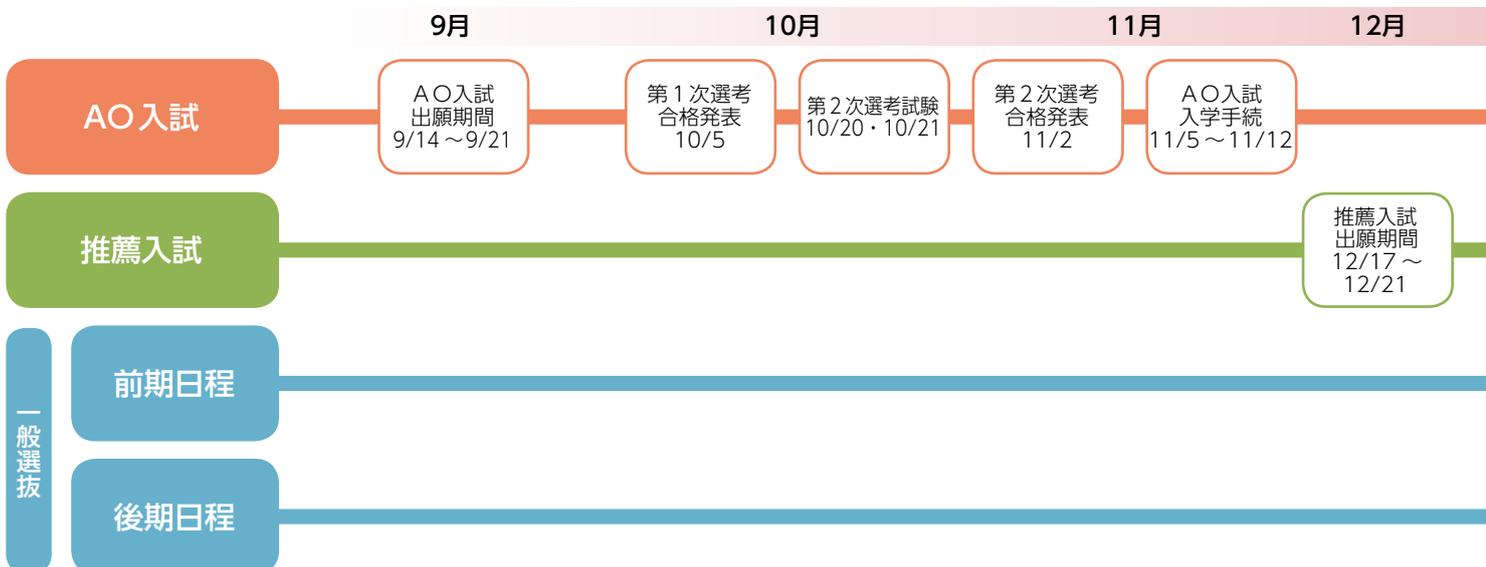
## ■一般選抜（前期・後期）

①選抜方法と日程	13
②センター試験及び個別学力検査の科目等	13
③入試科目「論説」の概要	15

## ■入学者選抜方法についてのQ & A

## ■平成30年度入学 入試結果

## ■平成31年度入学 入試スケジュール



# 平成31年度入学 宮城大学入学者選抜方法

## ●学類単位での入試

AO入試

### 入試科目

各学類	● 第1次選考	① 自己推薦書	② 学修計画書	③ 調査書
	● 第2次選考	1日目	① レクチャー・レクチャーレポート	② グループワーク・ふりかえりレポート
		2日目	③ 面接(口頭試問を含む。)	

- 提出書類による第1次選考を行い、合格者に対して第2次選考を行います。第2次選考では2日間の試験を通して、「課題を設定し、見直し、解決し、振り返る力」を評価します。
- 高等学校長からの推薦は要しませんので、どなたでも出願できます。
- 本学が指定する大学入試センター試験科目を受験していただき、入学手続後に自己採点のスコアを提出していただきます。
- 本学の一般選抜や推薦入試との併願ができます。

詳しくは P3へ

入学時に決定した学類のまま、2年次に進むことができます。原則として、途中で学類を変更することはできません。

※このほか、外国人留学生入試を実施します。

## ●学群単位での入試

推薦入試

### 入試科目

各学群	大学入試センター試験	面接(口頭試問を含む。)
-----	------------	--------------

- 大学入試センター試験の受験を課し、**基準得点**として利用します。
- 本学の一般選抜やAO入試との併願ができます。

詳しくは P11へ

一般選抜(前期・後期)

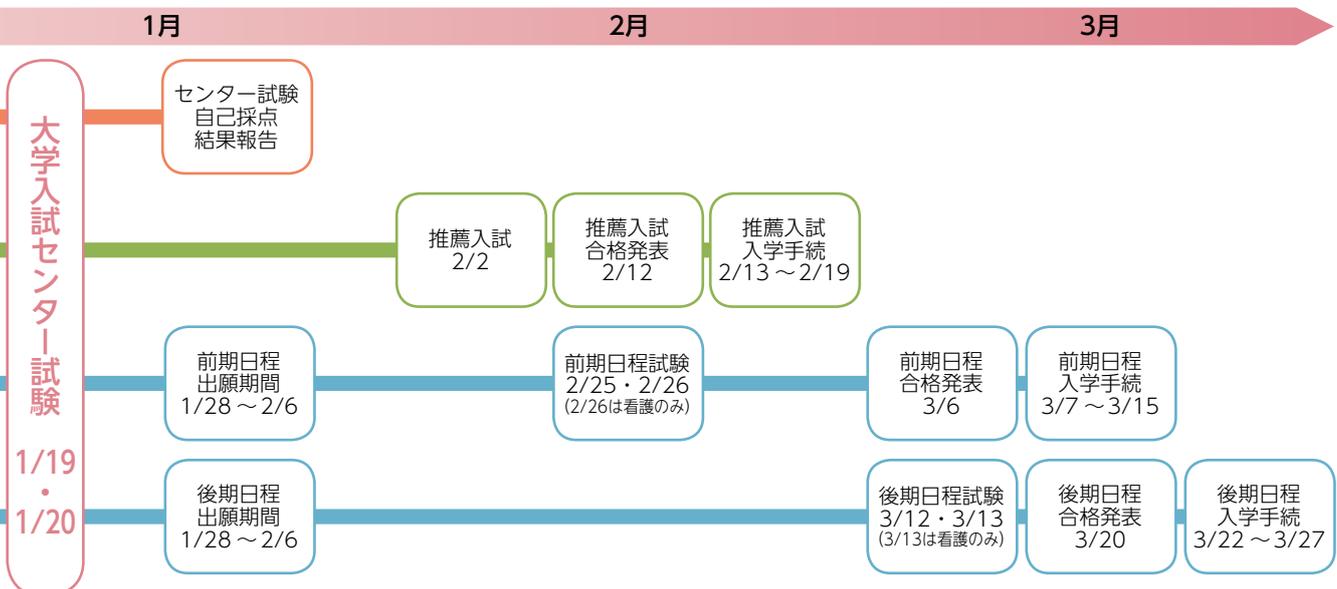
### 入試科目

看護学群	大学入試センター試験	個別学力検査	論 説	外国語	面 接
事業構想学群			論 説	外国語	数 学
食産業学群			外国語	数学・理科	

詳しくは P13へ

2年次進級時に、学類配属を決定します。※看護学群は1学類のため、学類配属は行いません。

※このほか、社会人・帰国子女入試を実施します。



# A〇入試

## 1 選抜方法と日程

### 募集人員

- ・看護学群：看護学類 8名
- ・事業構想学群：事業プランニング学類 8名／地域創生学類 8名／価値創造デザイン学類 8名
- ・食産業学群：食資源開発学類 8名／フードマネジメント学類 8名

大学入試センター試験の受験が必要です。  
大学入試センター試験の出願期間については、大学入試センターが発表する実施要項を確認してください。

**出願期間** 平成30年9月14日(金)～平成30年9月21日(金)【消印有効】

### 第1次選考

第1次選考では、提出された次の書類により選考を行います。

- ①自己推薦書**  
(受験者が作成) これまで(主に高校等)の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。
- ②学修計画書**  
(受験者が作成) 志望する学類への興味や関心をもとに、入学後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。
- ③調査書**  
(出身高校等で作成) 高校等での学業成績や活動の記録・評価等を記載する。

**第1次選考 合格発表** 平成30年10月5日(金)

### 第2次選考

第2次選考では、第1次選考に合格した方に対して、2日間の活動を通じた選考を行います。

● **1日目** 〈平成30年10月20日(土)〉

- ①レクチャー・レクチャーレポート** レクチャー(あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う)を受講し、その後、レクチャーの内容に関するレポート(設問形式)を作成する。
- ②グループワーク・ふりかえりレポート** レクチャーに関連するテーマについて、少人数のグループで議論(グループワーク)を行う。グループワーク終了後、レクチャーから一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。

● **2日目** 〈平成30年10月21日(日)〉

- ③面接**  
(口頭試問を含む) 高校等での学習成果や与えられた資料等に基づく口頭試問、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。

**第2次選考 合格発表** 平成30年11月2日(金)

### 入学手続き後

本学入学後の指導の参考とするため、平成31年度大学入試センター試験において、本学が指定する科目を受験し、自己採点結果を報告していただきます。

## 2 A O 入 試 は こ ん な 方 に オ ス ス メ ！

- ・ 大学で学びたいことや、進みたい学類が決まっている方
- ・ 学類での学修に対する強い意欲や高い資質のある方
- ・ 高等学校までの総合的な学習の時間等で問題解決型の活動に意欲的に取り組んできた方

## 3 A O 入 試 の 概 要

### 重視する「高校等での学習」の成果

総合的な学習の時間や各教科等での、①問題解決型の活動が発展的に繰り返される探究学習、②互いの考えを伝え合い、自身の考えを発展させる等、他者と協働して課題を解決する学習、③自ら得た情報を分析・評価し、まとめ、表現する学習等

例：総合的な学習の時間での探究活動・協働的な学習・言語活動、SSHでの科学的探究活動、SGHでのグローバル探究学習、専門高校でのプロジェクト学習等

### A O 入 試 で 評 価 す る 資 質 や 能 力

これまでの学習に基づく学力の基盤や、高校等での探究的活動に裏付けされた課題発見・解決能力に加えて、自身の興味や関心に基づいた、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

### (1) 第 1 次 選 考 ( 書 類 選 考 )

提出された自己推薦書、学修計画書、調査書の内容を総合的に判定して選抜を行います。

自己推薦書・学修計画書は受験者本人が作成したものを、調査書は高校等で作成されたものを提出してください。

#### ① 自己推薦書

自己推薦書の内容	これまで（主に高校等）の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて、事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。 ※ P5参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	高校等での学びの実践を通して、主体的に学び考え、自ら課題を設定し、興味や関心を追究する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	これまでの学習や活動の実績に裏付けられた自身の強みについて、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

#### ② 学修計画書

学修計画書の内容	志望する学類への興味や関心をもとに、入学後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。 ※ P6参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	見通しをもって、自身の興味や関心をよく整理した上で、入学後の目標を設定し、その実現に向けた道筋を計画する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	自ら志望する学類への興味や関心をもとに、志望する専門分野の学問的意義や社会的位置付けを関連させながら入学後の目標を設定し、その実現に向けた自身の展望を、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

#### ③ 調査書

評価する資質や能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校等での学業成績（評定平均値を含む。）等の観点からみた学力の基盤。</li> <li>・ 調査書における「指導上参考となる諸事項」及び「総合的な学習の時間の内容・評価」やその他の記載事項からみた学習内容 等</li> </ul> <p>※総合的な学習の時間を履修しなかった者（研究開発学校、専門学科等）については、総合的な学習の時間に代わる活動の内容・評価を記した副申書をもって代えることができる。</p>
-----------	---



## ●学修計画書 入学後の学びの展望を示す

### ■学修計画書作成にあたって

- ・単に「～を学びたい」「～をしたい」ということを書くのではなく、なぜその分野に興味を持ったのか、興味を持ったことに対してこれまでにどのような活動をしたのか等を具体的に書いた上で、入学後の学修に対する自らの展望を説明してください。
- ・志望する学群・学類が持つ学問的意義や社会的位置付けを明確にしなが、志望分野への強い意欲や、自ら積極的に学ぼうとする姿勢等を、自分の言葉で書いてください。
- ・大学での4年間の学びにとどまらず、大学卒業後の自分の将来の姿をイメージし、関連させながら書いてかまいません。

(表面)

平成31年度入学 宮城大学 A O 入試

**学 修 計 画 書**

		※ 受験番号	
志望学群・学類	学 群	学 類	
フリガナ	性 別	男	女
氏 名	生 年 月 日	平 成	年 月 日

あなたが志望する学群・学類で、入学後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいかを計画し、文章で書いてください。

(裏面あり)

※ 受験番号を除き、必要事項すべてを記入し、又は該当項目に○印を付してください。

(裏面)

約500字

- ・ A 4両面1枚です。
- ・裏面も含め2ページの枠内でのみ作成してください。
- ・手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。
- ・資料(賞状の写し、新聞記事、論文、CD等)の添付は認めません。

約1000字



### 学修計画書作成のポイント

- ・志望する分野に興味を持ったきっかけや理由を具体的に記載しよう。
- ・志望する分野に関連することについて、自分で活動したり、調べたりしたことがあれば、必ず記載しよう。
- ・大学での学びへの熱い思いを記載しよう。将来の「夢」だけでなく、入学後にいつ、何を、どのように学んでいくのかなど、できるだけ具体的に「計画」を立ててみよう。
- ・大学での学びは、社会ではどんな意味があるのか、調べてみよう。オープンキャンパスでは研究内容の紹介もしているので、興味のある分野を覗いてみることもおすすめ!

## (2) 第2次選考

第1次選考に合格した方に対して、下記の2日間の活動を評価した成績、調査書及び出願書類の内容を総合的に判定して選考を行います。

選抜日程	試験科目	内容	評価
1日目	レクチャー (50分)	講師によるレクチャーを受講します。	レクチャーレポートを対象とします。
	レクチャーレポート (80分)	レクチャーの内容に関するレポートを作成します。	
	グループワーク (60分)	レクチャーに関連するテーマについて、少人数のグループで議論を行います。	主としてふりかえりレポートを対象とします。
	ふりかえりレポート (45分)	レクチャーから一連の過程を振り返り、レポートを作成します。	
2日目	資料読解 (20分)	資料の読解を行います。	—
	面接 (口頭試問を含む) (25分)	読解を行った資料に関する口頭試問を受けます。また、志望する学類への意欲や資質を問う面接を受けます。	口頭試問を重視します。

### ①レクチャー・レクチャーレポート

レクチャー・レクチャーレポートの内容	レクチャー（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う。）を受講し、その後、レクチャーの内容に関するレポート（設問形式）を作成する。
「高校等での学習」の成果として重視する点	聴講活動を通して、課題意識をもち、得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、自身が探究すべき課題を設定し、高校等での学習や自身の経験をレクチャーの内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

昨年のレクチャー・レクチャーレポートの内容例 (実際のものとは表現は少し異なります。)

### ■テーマ「ICT化の進む社会」

#### 〈レクチャー概要〉

社会のICT (Information and Communication Technology) 化の進展を読み解くのに必要となる語句の意味や、グラフ及び数値データの読み取り方を解説する。また、ICT化の進展により得られる恩恵がいかなるものと考えられているか、幾つか異なる側面からの事例やデータとともに紹介する。さらに、ICT化進展の結果として直面している社会的課題点を複数紹介する。ICT化をとまなう新たな取組みにより、例えば利便性が高まる一方で、そこから生じる新たな課題を意識してもらうことで、今後、新たな取組みによりどのように社会を改善できそうなのか、それに伴う課題は何か、どのような対応策があり得るのかを考えてもらいたい。

#### 〈レクチャー資料〉

- 図表1 我が国における主なICTメディアの世帯普及率10%達成までの所要期間を示したグラフ
- 図表2 通信サービス加入契約者数の推移を示したグラフ
- 図表3 教育分野でのICT活用／非活用グループ別の学習理解度を示したグラフ
- 図表4 ICTの発展とGDPの推移を示したグラフ
- 図表5 ICTの社会経済への貢献に関する表
- 図表6 主要国の年間労働時間と時間あたり労働生産性を示したグラフ
- 図表7 主要国における女性（15～64歳）及び高齢者（65歳以上）の就業率を示したグラフ
- 図表8 投資と資本ストックに関する表
- 図表9 情報通信投資の推移を示したグラフ
- 図表10 情報通信資本ストックの推移を示したグラフ
- 図表11 異なる減耗率での資本ストックの推移を示したグラフ

- 図表12 インターネットを通じた支出の状況に関するグラフ  
 図表13 経済的価値（GDP）では計れないICTの社会への貢献に関する表  
 図表14 インターネット上の脅威への認知度を示したグラフ  
 図表15 携帯電話SNS利用のために犠牲にする時間を示したグラフ  
 図表16 スマートフォンの使用時間と成績の関係を示したグラフ

### 〈レクチャーレポート設問〉

新たに表A及び表Bが示される。

問1 以下の表Aと表Bは、ある二つの産業の資本ストックと投資額の推移を示している。一つは（1）情報通信分野への投資・資本ストックであり、もう一つは（2）情報通信分野以外への投資・資本ストックの値である。（1）の表だと考えられるものを表A又は表Bから選び、解答欄の「表A」または「表B」に○を付けなさい。また、選んだ理由を簡潔に説明しなさい。

⇒**ねらい**：レクチャー内容の理解力及び情報の把握力と分析力、さらにそれらを整理・比較検討する論理的思考力をみる。

新たに図が示される。

問2 以下の図は、1995年と2016年の日本の女性の年齢階層別の労働力率を示している。労働力率とは、15歳以上人口の中で労働の意思と能力をもつ人の割合である。

（1）1995年の日本の女性の年齢階層別の労働力率の特徴をまとめ、このような結果になっている社会的な背景について説明しなさい。

⇒**ねらい**：与えられた事象や情報を的確に把握する力に加え、グラフを読み解く力、さらにその読み解いた結果を論理的にわかりやすく記述する力をみる。

（2）1995年の日本の男性の年齢階層別の労働力率を推測し、解答用紙のグラフに描き、そのようなグラフを描いた理由を簡潔に説明しなさい。

⇒**ねらい**：レクチャー内容の理解力に加え、その内容をグラフに描く思考力、その結果をわかりやすく簡潔に記述する力をみる。

（3）1995年と2016年を比較して、日本の女性の労働力率にはどのような変化が見られたか説明しなさい。また、その変化にはICTの普及・発展も部分的に関連していると考えられている。どのような面で影響したと考えられるか、その根拠も含めて説明しなさい。

⇒**ねらい**：与えられた事象や情報を的確に把握する力に加え、グラフを読み解く力、さらにその読み解いた結果を論理的にわかりやすく記述する力をみる。

問3 日本が抱える様々な課題（人口減少、少子高齢化、災害対応、地域経済の衰退等）を解決するため、ICTのさらなる利活用が期待されている。

（1）あなたが志望する学群に関わる以下の分野で、課題を解決するためのICTの利活用が考えられる取り組みの一つ挙げ、その具体的な利活用の方法について説明しなさい。

看護学群：医療・健康・福祉への応用
事業構想学群：社会・ビジネスへの応用
食産業学群：食・農業への応用

⇒**ねらい**：レクチャーや与えられた資料、高校等での学習や自身の経験と関連付けながら、いかに課題解決に貢献できるか考察する力をみる。

（2）（1）で挙げたICT利活用の取組みによって生じる社会的な課題点・問題点を考え、具体例を示しながら説明しなさい。

⇒**ねらい**：与えられた条件のもとで、どのような問題が生じ得るかを分析する思考力や発想力、その結果を論理的に記述する力をみる。



### レクチャー・レクチャーレポートのポイント

- ・レクチャーで説明される内容を、理解しながらしっかりメモしておこう。
- ・レクチャーやレクチャーレポートでは、グラフや表が多く出てきます。グラフや表からどんなことが読み取れるのか、普段から考える癖をつけておこう。
- ・また、読み取った内容を文章で適切に表現できるようにしておこう。

## ②グループワーク・ふりかえりレポート

グループワーク・ふりかえりレポートの内容	レクチャーに関連するテーマについて、少人数のグループで議論(グループワーク)を行う。グループワーク終了後、レクチャーから一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。
「高校等での学習」の成果として重視する点	他者と協働して課題を解決することができる力や、課題解決に至るまでのプロセスの中で、自身の思考の変化や深まりに気づく力が身についている。
評価する資質や能力	自身の考えを他者と共有し、進んでグループに貢献する力や、他者の意見や問題提起等を受け、さまざまな意見を比較しながら、自身の思考を展開する力。さらに、自身の思考の展開について、根拠を示しながら、筋道を立てて説得力のある論述ができる力。

### 昨年のグループワーク・ふりかえりレポートの内容例

#### 〈グループワークテーマ〉

志望する学群ごとに設定された以下のテーマについて、ICTの活用により課題解決が期待できる取組みについて話し合いなさい。さらに、そのような取組みにより生じると考えられる社会的な問題点・課題点も考慮した上で、最も効果的な取組みは何であるか、議論しなさい。

看護学群：「医療・健康・福祉」  
 事業構想学群：「社会・ビジネス」  
 食産業学群：「食・農業」

#### 〈ふりかえりレポート設問〉

問1 グループワークでの議論を踏まえた上で、グループワークを行う前と後で、どのように自分の考えが変化したかを示しながら、課題を解決するためのICTの活用が考えられる最も効果的な取組みは何であるか、その理由とともに論述しなさい。

**⇒ねらい：**他者の意見や問題提起等を受け、さまざまな意見を比較しながら、自身の思考を展開する力をみる。

問2 問1で挙げた取組みにより生じると考えられる社会的な問題点・課題点に対し、その問題・課題を解決するための対策を検討し、具体的に述べなさい。

**⇒ねらい：**自身の思考の展開について、根拠を示しながら、筋道を立てて説得力のある論述をする力をみる。



#### グループワーク・ふりかえりレポートのポイント

- ・グループワークでは、自分以外の受験者の意見を聴いて、納得したり、ここが自分の考えとは違うなと感じたりしながら、自分の考えをできるだけ深めるようにしよう。議論に積極的に参加することが、自分の考えの整理にも役立ちます。
- ・ふりかえりレポートでは、グループワークで議論したことを踏まえて、自分の考え方がどのように広がったり、変化したり、確かなものになったか、文章で表現しよう。

## ③面接（口頭試問を含む。）

面接（口頭試問を含む。）の内容	高校等での学習成果や与えられた資料等に基づく口頭試問、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。
「高校等での学習」の成果として重視する点	事象や情報を的確に把握し、伝達できる力や態度が身についている。さらに、自身の興味や関心を整理し、入学後の学修を見通す力や態度が身につけている。
評価する資質や能力	高校等での基礎的・基本的な学習成果をもとにして、与えられた事象や情報を的確に把握し、その内容を整理して、具体的な根拠を明示する等、説得力をもって応答できる力。さらに、高校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質。

## 昨年の口頭試問の内容例

（与えられる資料や口頭試問の内容は、一部を抜粋しています。）

## ■看護学群

## 〈与えられる資料〉

人や動物の助け合いに関する文章及び図表

## 〈口頭試問〉

資料を見ると、動物の行動を人間社会の社会保障に例えています。なぜこのような例えが可能なのか説明してください。

⇒ねらい：与えられた資料と学習成果を関連付けながら説明する力をみる。

## ■事業構想学群

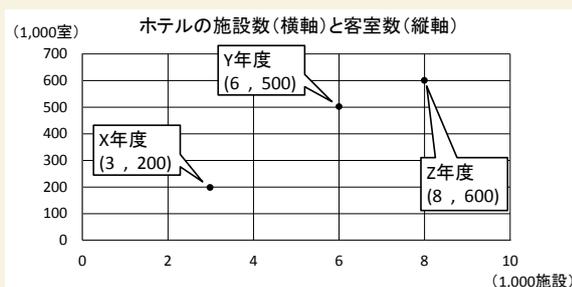
## 〈与えられる資料〉

宿泊業の施設や流通に関する文章及び図表

## 〈口頭試問〉

次の図はホテルの施設数と客室数の関係について、X年度、Y年度、Z年度のデータを示したものであると考えてください。「ホテル—施設あたり客室数」について、どの年度が一番多いかを視覚的に読み取るには、どのように補助線を使えば良いか、説明してください。

⇒ねらい：グラフ化された数値データに基づいて論理的に説明する力をみる。



## ■食産業学群

## 〈与えられる資料〉

気候変動の諸問題に関する文章及び図表

## 〈口頭試問〉

資料を見ると、「パリ協定」について書かれています。「パリ協定」以前にも地球温暖化に対して国際的な取組みが行われており、1997年には「京都議定書」が採択されています。「京都議定書」で採択された削減目標と、その対象となった国を答えてください。

⇒ねらい：学習成果に基づいて、与えられた資料に関する基本的事項を適切に説明する力をみる。

※口頭試問の内容は、原則として学類ごとに異なります。

※資料に基づく口頭試問のほか、高校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質を評価する面接を行います。

# 推薦入試

## 1 選抜方法と日程

### 募集人員

・看護学群：24名　・事業構想学群：40名　・食産業学群：28名

### 出願資格

平成31年度大学入試センター試験のうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の(1)から(4)までのすべてに該当する方。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月に卒業見込みの方
- (2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する方で、高等学校又は中等教育学校の長が責任を持って推薦できる方
- (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる方
- (4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の方で、人物、学力とも特に優秀である方

**出願期間** 平成30年12月17日(月)～平成30年12月21日(金)【消印有効】

**大学入試センター試験** 試験日：平成31年1月19日(土)・平成31年1月20日(日)

大学入試センター試験の成績(得点)が「基準得点」以上である受験者を選抜の対象とします。

#### 「基準得点」の設定

高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の成果を求めため、大学入試センター試験の成績に「基準得点」を設けています。

**基準得点 476**

※基準得点以上の方の数が募集人員に満たない場合は、基準得点を下げることがあります。

〈大学入試センター試験の利用教科・科目〉

教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	合計
配点	200	100	100	200	250	850

■国語：「国語」

■地理歴史・公民：「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」  
「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1

■理科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1

■数学：「数学I」「数学I・A」から1かつ「数学II」「数学II・B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1

■外国語：「英語(リスニングテストを含む。)」

**選抜期日** 面接(口頭試問を含む。)の実施日：平成31年2月2日(土)

**合否判定** 調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接(口頭試問を含む。)の成績を総合的に判定します。

**合格発表** 平成31年2月12日(火)

## 2 推薦入試はこんな方にオススメ！

- ・リーダーシップを発揮し、率先して様々な活動に取り組める方
- ・大学に入学してから、自分の進みたい道（学類）を決めたい方
- ・高校までの、偏りなく幅広く、継続した学習の成果が身についている方

## 3 入試科目「面接（口頭試問を含む。）」の流れ

試験科目	内容	評価
資料読解 (20分)	資料の読解を行います。	—
面接 (口頭試問を含む。) (25分)	読解を行った資料に関する口頭試問を受けます。また、志望する学群への意欲や資質を問う面接を受けます。	口頭試問を重視します。

## 4 入試科目「面接（口頭試問を含む。）」の概要

面接（口頭試問を含む。）の内容	高校等での学習成果や与えられた資料等に基づく口頭試問、志望する学群への意欲や資質を問う面接を行う。
「高校等での学習」の成果として重視する点	事象や情報を的確に把握し、伝達できる力や態度が身についている。さらに、自身の興味や関心を整理し、入学後の学修を見通す力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、関連する新たな課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながらその解決への道筋を考察し、具体的な根拠を明示する等、説得力をもって応答できる力。また、高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質。

### 昨年の口頭試問の内容例（口頭試問の内容は、一部を抜粋しています。）

#### 〈与えられる資料〉

車輪や車社会について述べられた文章及び図表

#### 〈口頭試問〉

- ・資料で著者は、陸上の移動道具のなかで、自転車が最もエネルギー効率の良いものであることを述べています。図表をもとに、「走る」と比較して、「自転車」のほうが効率が良いのはなぜか、説明してください。

⇒**ねらい**：与えられた文章や図表を適切に分析し、論理的に説明する力をみる。

- ・資料で著者は、道に少しでも凹凸があると車椅子が大変であることを述べています。この大変さを取り除くために、道路などの社会資本を造る上で、どのような配慮が必要か、説明してください。

⇒**ねらい**：与えられた資料と学習成果を関連付けながら、身の回りにある課題を見つけ出し、それらへの対応策を提案する力をみる。

- ・図表は、哺乳類の代謝量と体重の関係を表したグラフです。

この図表では縦軸・横軸の目盛が0.1、1、10、100、1000・・・となっています。このような目盛を用いている理由を答えてください。

また、哺乳類の代謝量と体重の関係について、グラフから読み取れることを答えてください。

⇒**ねらい**：与えられた数値データを活用し、論理的に説明する力をみる。

※口頭試問の内容は、原則として学群ごとに異なります。

※資料に基づく口頭試問のほか、高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質を評価する面接を行います。

# 一般選抜(前期・後期)

## 1 選抜方法と日程

### 募集人員

- ・看護学群：前期 48名／後期 10名
- ・事業構想学群：前期 100名／後期 20名
- ・食産業学群：前期 62名／後期 12名

大学入試センター試験 平成31年1月19日(土)～平成31年1月20日(日)

出願期間 平成31年1月28日(月)～平成31年2月6日(水)【消印有効】

### 個別学力検査

- 前期 平成31年2月25日(月) ●後期 平成31年3月12日(火)
  - ・看護学群：論説、外国語(英語)
  - ・事業構想学群：論説、外国語(英語)、数学
  - ・食産業学群：外国語(英語)、数学・理科
- 前期 平成31年2月26日(火) ●後期 平成31年3月13日(水)
  - ・看護学群：面接

合格発表 前期：平成31年3月6日(水) 後期：平成31年3月20日(水)

## 2 センター試験及び個別学力検査の科目等

### 看護学群

### 一般選抜(前期日程・後期日程)共通

大学入試センター試験		個別学力検査
教科	科目	
国語	「国語」	「論説」 「外国語」 「面接」
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 地理歴史・公民から1 「倫理、政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2 かつ「物理」「化学」「生物」から1 又は「物理」「化学」「生物」から2	
数学	「数学I」「数学I・数学A」から1 かつ「数学II」「数学II・数学B」から1	
外国語	「英語(リスニングテストを含む。)」	
5教科7科目又は5教科8科目		

センター試験				
国語	地歴公民	理科	数学	外国語
1	1	2又は3※	2	1

※理科の選択方法



### 注意事項

- ・地歴において、「世界史A」、「日本史A」、「地理A」は選択できません。
- ・理科において、「地学基礎」、「地学」は選択できません。
- ・理科の選択方法について、①(理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。

事業構想学群

一般選抜(前期日程・後期日程) 共通

大学入試センター試験		個別学力検査
教科	科目	
国語	「国語」	「論説」 「外国語」 「数学」
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から0又は2 かつ「物理」「化学」「生物」「地学」から0、1又は2	
数学	「数学Ⅰ・数学A」かつ「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1	
外国語	「英語(リスニングテストを含む。)」	
5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目		

センター試験				
国語	地歴公民	理科	数学	外国語
1	3又は4*	2	2	1



- 注意事項**
- ・地歴において、「世界史A」、「日本史A」、「地理A」は選択できません。
  - ・①又は②(地歴公民から2科目選択)の場合、公民からの2科目選択はできません。
  - ・理科の選択方法について、③(理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。

食産業学群

一般選抜(前期日程・後期日程) 共通

大学入試センター試験		個別学力検査
教科	科目	
国語	「国語」	「外国語」 「数学・理科」
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から0又は2 かつ「物理」「化学」「生物」から0、1又は2	
数学	「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」	
外国語	「英語(リスニングテストを含む。)」	
5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目		

センター試験				
国語	地歴公民	理科	数学	外国語
1	3又は4*	2	2	1



- 注意事項**
- ・地歴において、「世界史A」、「日本史A」、「地理A」は選択できません。
  - ・理科において、「地学基礎」、「地学」は選択できません。
  - ・①又は②(地歴公民から2科目選択)の場合、公民からの2科目選択はできません。
  - ・理科の選択方法について、③(理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。

## 3

## 入試科目「論説」の概要

論説の内容	課題文や資料（文章や図表等）を読み、設問に解答する。
「高校等での学習」の成果として重視する点	得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

**昨年の「論説」の内容例**（一部を抜粋しています。）

## 〈テーマ〉

生息状況および出没の変遷とその背景

## 〈与えられる資料〉

資料1 全国のツキノワグマの有害駆除頭数の年次変化を示したグラフ

資料2 日本のツキノワグマの生息状況や、大量出没の背景に関する文章

## 【文章の概要】

ツキノワグマは絶滅の恐れがあるとみなされている。一方で、ツキノワグマの大量出没に伴う人身事故が近年増加しており、その背景には人間の社会や生活の変化に伴う森林の変化などがあると推測されている。

資料3 ツキノワグマの生息数の変化に関する文章

## 【文章の概要】

人口増加と土地利用の拡大はツキノワグマの分布を大きく縮小させた。しかし現在は、狩猟者の数の減少などに伴って、ツキノワグマを含めた野生動物の多くは分布を回復させており、日本人と野生動物の関係は新たな段階へ移行しつつある。

資料4 ツキノワグマの分布を示した図

資料5 福島県を除く東北5県におけるツキノワグマの捕獲頭数とブナ豊作指数の年次変化を示したグラフ

資料6 光足尾山地におけるミズナラとクリの結実程度とツキノワグマの行動圏を示した図

## 〈設問〉

問1 次の(1)と(2)の設問に答えなさい。

- (1) 資料1のグラフから、ツキノワグマの有害駆除頭数にはどのような推移や変化がみられるか、その特徴を100字以内で述べなさい。
- (2) (1)で述べた推移や変化の理由として考えられることを、資料1～資料4を参考にして300字以内で述べなさい。

⇒**ねらい**：与えられた図から事象を的確に把握する力、与えられた図表や文章を関連付けて分析して事象・現象を考察する力、わかりやすい文章で論理的に記述する力をみる。

問2 資料5に示されたような、ツキノワグマの捕獲頭数の変化に影響を及ぼす要因として何が考えられるか、資料5および資料6を用いて350字以内で説明しなさい。

⇒**ねらい**：与えられた複数の図表を読み取り、現象を把握する力、得られた情報に基づいて分析する力、それらをわかりやすい文章で論理的に簡潔にまとめる力をみる。

問3 資料1～資料6を踏まえて、あなたはツキノワグマと人間の間にどのような問題があるか。また、その問題を解決するためにどのような方策をとればよいと考えるか。問題と方策の内容を具体的に述べなさい。さらに、方策を実行するにあたって新たに生じうる課題とその課題を解決するための工夫について述べなさい。あわせて400字以内で述べなさい。

⇒**ねらい**：与えられた文章や資料から課題を見出し、高校等での学習や自身の経験と関連付けながら、解決への道筋を考察する力をみる。


**論説のポイント**

- ・1つのテーマに関する複数の資料（文章、グラフ、表等）について、それらを関連付けながら読み解くことができるようにしよう。
- ・課題になっていることは何か、自分ならその課題にどう対応するかを常に考えるようにしよう。その時に、自分の考えを補強するためにはどんなことを調べたらよいかも、あわせて考えてみよう。
- ・普段から、論理的でわかりやすい文章で表現できるように心がけよう。

# 入学者選抜方法についてのQ&A

## ●AO入試に関すること

Q 1

自己推薦書に記載できるのは、学習の成果だけですか。部活動等についても評価されないのでしょうか。

A 1

学習成果（各教科の学習、ホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事での成果）を評価対象としています。部活動や校外での活動を除外するものではありませんが、「学習成果」と関連付けて記載してください。

Q 2

調査書の評定はどのくらい必要ですか。

A 2

AO入試では、出願要件としての基準を設けていません。第1次選考の書類審査では、評定だけではなく、調査書の内容を総合的に評価します。  
(注：推薦入試の出願要件については、調査書の全体の評定平均値が4.0以上としています。)

Q 3

レクチャーは、志望する学群・学類に関連した内容が出るのですか。

A 3

全学類の受験者に対して同じ内容のレクチャーを行いますので、必ずしも志望する学群・学類に関連した内容ではありません。

Q 4

レクチャーレポート作成のためには、どのような対策が必要ですか。

A 4

高等学校等での授業の時に先生が話した内容についてメモをとり、自分で整理することがとてもよいトレーニングになります。

Q 5

推薦入試・一般選抜との併願はできますか。

A 5

本学の推薦入試・一般選抜にも出願することができます。ただし、AO入試に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。

Q 6

AO入試で入学することのメリットは何ですか。

A 6

AO入試合格者は、入学時に学類が決定しているため、1年次から、各学類の2年次以降の専門的な学びを見通した学修に取り組むことができます。

## ●推薦入試に関すること

**Q7** AO入試・一般選抜との併願はできますか。

**A7**

本学のAO入試・一般選抜にも出願することができます。ただし、推薦入試に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。  
なお、他の国公立大学の推薦入試とは併願できませんので、注意してください。

**Q8** 大学入試センター試験の得点はどのように扱われますか。

**A8**

基準得点以上の受験者を選抜対象とします。大学入試センター試験の得点は、合算するなどして合否判定に利用するわけではありません。

## ●一般選抜に関すること

**Q9**

看護学群において、平成30年度入試から大学入試センター試験の理科で「基礎あり2科目選択」のみで受験ができなくなった理由を教えてください。

**A9**

「高等学校等までの偏りなく幅広く、継続した学習」の成果を求めることとしているため、平成30年度入試から、「基礎なし科目」を少なくとも1科目課すこととしました。

**Q10**

食産業学群「数学・理科」のA区分、B区分について教えてください。

**A10**

食産業学群の入試科目「数学・理科」は、数学重視のA区分と理科重視のB区分に分かれています。A区分は数学90分・理科45分、B区分は数学45分・理科90分です。出願時にA区分またはB区分を選択します。また、理科の解答科目は試験時間中に選択します。

**Q11**

数学や理科の個別学力検査の出題範囲を教えてください。

**A11**

食産業学群の個別学力検査においては、「数学・理科」として、数学重視の「A区分」と理科重視の「B区分」を設けています。「A区分」の理科は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目の選択とし、「B区分」の理科は「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1つの選択とし、いずれも全範囲からの出題とします。「数学・理科」は、いわゆる合科目型の試験ではなく、数学と理科を1つの連続した検査時間の中で課す試験となりますが、区分によって数学と理科の検査時間が異なります。

また、事業構想学群と食産業学群で課される数学においては、「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の全範囲から出題します。ただし、「数学A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の3項目の内容のうち2項目以上を、「数学B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の3項目の内容のうち2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにします。

## ●平成30年度入学 入試結果

入試の単位	区分	学群	学 類	募集人員	出願者数	第1次選考 (書類選考) 合格者数	第2次選考 受験者数	第2次選考 合格者数	実質競争 倍率	入学者数
学類単位の 入試	AO入試	看護学群	看護学類	8	64	28	28	8	8.0	8
		事業構想 学群	事業 プランニング学類	8	31	25	25	9	3.4	9
			地域創生学類	8	22	19	19	9	2.4	9
			価値創造 デザイン学類	8	27	26	25	8	3.4	8
		食産業学群	食資源開発学類	8	11	11	11	8	1.4	8
			フード マネジメント学類	8	19	19	19	9	2.1	9

入試の単位	区分	学 群	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争 倍率	入学者数
学群単位の 入試	推薦入試	看護学群	24	73	61	24	2.5	24
		事業構想学群	40	112	97	42	2.3	42
		食産業学群	28	42	41	26	1.6	26
	一般選抜 (前期)	看護学群	48	151	125	57	2.2	50
		事業構想学群	100	339	294	120	2.5	118
		食産業学群	62	194	161	78*	2.1	67*
	一般選抜 (後期)	看護学群	10	138	43	12	3.6	12
		事業構想学群	20	345	157	24	6.5	19
		食産業学群	12	284	98	20	4.9	14

※追加合格者1名を含みます。



宮城大学  
MIYAGI UNIVERSITY

入学者選抜に関する問い合わせは

---

**宮城大学 アドミッションセンター**

大和キャンパス / 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1  
TEL.022-377-8333 FAX.022-377-8282

宮城大学ウェブサイト <http://www.myu.ac.jp/>